

予算の執行状況に関する調査

[議事録 2/6]

サイバー攻撃に対する現状把握と各種認識

- ・サイバー攻撃に対する防衛相所見と外務省における秘密保持文書保有状態
- ・サイバー空間における国際法の適用に対する見解

○吉川沙織君

昨日の報道ですけれども、経済産業省所管の独立行政法人において PC ウイルス感染による情報流出事案が報道されております。この詳細について経済産業大臣に報告があったのはどの時点で、最終的な情報の流出先というのは特定できているのかどうか、お伺いいたします。



○国務大臣(枝野幸男君)

今回の件、大変遺憾でございますが、この件についての詳細な調査結果について、6月8日、当該法人から保安院に対して報告書が提出され、それが私のところにも報告されております。



枝野 経済産業大臣

その報告によりますと、国益に関したりあるいは安全に関するような重要情報は流出していないということでございますが、流出先については残念ながら特定できておりません。

○吉川沙織君

実はこの事案、報道発表、最初にされましたのが5月2日で、今度その当該法人から報道発表されましたのが6月11日ということですから、実に1か月間、最初の報道発表では流出はして

いないということが報道されていまして、やはりその間、流出しているか、していなかったも分らなかった。

そして、どこに流出しているか最終的な流出が分からないということは、国外にも漏れているという可能性は排除できないと思います。この問題の特徴はここにあると思っています。

サイバー攻撃は、先ほどイランの事例を取り上げましたけれども、もはや国家間の残念ながら戦争の手段として用いられる時代になってきていると考えますが、我が国がこの問題に対峙するとき、国民をこのサイバー攻撃から守る体制はできているのか、この問題に対する防衛大臣の御所見をお伺いします。



○国務大臣(森本敏君)

先生御指摘のように、我が国に対するサイバー攻撃というのが広範に及んでいるということは、国の防衛にとって極めて深刻な問題であると受け止めております。



森本 防衛大臣

ただ、防衛省・自衛隊が直接のサイバー攻撃を受けたという事例はありませんが、先生先ほど御指摘のように、既に防衛関係の企業が情報を不法に入手するという目的でサイバー攻撃を受けた事例は確かに報告されており、承知しております。

自衛隊としては、まず国民の安全を守る自衛隊がかかるサイバー攻撃を受けるなどというような

ことはあってはならず、したがって、既に平成 20 年から自衛隊の中に自衛隊指揮通信システム隊という組織をきっちとつくってこれに対処しておりますが、なおサイバー攻撃に対してどのように今後有効に対処できるのかということについて鋭意検討し、対策を進めているところでございます。以上でございます。

○吉川沙織君

2002 年 4 月 23 日の参議院外交防衛委員会で当時の外務副大臣は、「外務省が電子的に保有しております情報で秘密保持が必要なものについては、外部と接続されているネットワーク上には置かれておりません。」と答弁されておりますが、現在においても同様の措置とっておられると思いますが、外務大臣にお伺いいたします。

○国務大臣(玄葉光一郎君)

おっしゃるように、オープン LAN では機密性の高い情報を保存することを禁止しております。

○吉川沙織君

先ほど引用いたしましたイランに対するサイバー攻撃事案についても、外部と接続されていない制御システムがネットワーク攻撃されていることから、各省の秘密保持に関する情報、それから重要インフラ事業者等が保有する制御システムについても警戒を強めていかなければならないと考えます。



さて、4月26日に開催されました政府の情報セキュリティ政策会議において外務大臣は、「外務省としてあらゆる検討を行った結果、この問題については、基本的には、サイバー空間にも従来の国際法が当然適用されるとの立場を取るのが適当と考える。」と述べていらっしゃいますが、この趣旨について簡潔にお伺いいたします。

○国務大臣(玄葉光一郎君)



玄葉 外務大臣

法の支配というのは普遍的な価値だと私は思っていますが、それを国際社会で支えているのはまさに国際法。この原理原則が崩れたときに起きる混乱といったものを考えますと、やはりサイバー空間においてもこの国際法がやはり適用されるというふうに考えるのが原則だと。

ただ、何を具体的に、どのような国際規範をどのような状況の中において適用するのかということについては引き続き検討していきなさいいけないし、もう一言だけ言うと、やはりG8外相な

んかでもこれは大事なテーマになっています。アメリカともサイバー協議しています。

インドとも今やり始めています。アジアではこの問題でしっかりリードしていけるように、最低限でもアジアではしていきたいというふうに考えています。

続きの議事録(3/6)は、[こちら](#)です。